# 有機農産物の
# 日本農林規格に適合した殺菌剤

農林水産省登録
第１９６８７号

# サンケイ ジーファイン® 水和剤

有効成分：炭酸水素ナトリウム…46.0%　無水硫酸銅…30.0%（銅として12.0%）
人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）

**IPM適合**
**植物保護剤**

葉かび病、すすかび病、
うどんこ病、白さび病、
軟腐病に優れた効果。

**EBI剤耐性うどんこ病菌に
も安定した効果を
発揮します。**

近年
問題となっている
**かんしょ基腐病**
にも有効!!

かんしょ基腐病

いちごうどんこ病

トマトうどんこ病

トマト葉かび病

トマトすすかび病

トマト疫病

きゅうりうどんこ病

なすうどんこ病

メロンうどんこ病

すいかうどんこ病

かぼちゃうどんこ病

ピーマンうどんこ病

きゅうり灰色かび病

パセリうどんこ病

さといも疫病

チンゲンサイ白さび病

レタス軟腐病

ばれいしょ軟腐病

西洋なし輪紋病

かんきつかいよう病

## 有機農産物の日本農林規格に適合した殺菌剤

# サンケイ ジーファイン® 水和剤

## 特　　長

1. 各種作物のうどんこ病に優れた予防効果と治療効果があります。
2. レタスの軟腐病や腐敗病、パセリの軟腐病など防除困難な細菌性病害に予防散布で安定した効果があります。
3. 「植物保健薬」として、殺菌作用ばかりでなく、作物の栄養にもなる画期的な薬剤です。
4. 特異な作用機作から耐性がつきにくいと考えられます。また、EBI剤耐性菌にも安定した効果を発揮します。
5. 収穫前日まで使用できますので、毎日収穫する果菜類の殺菌剤として使いやすい薬剤です。
6. ミツバチに対する安全性が高く、訪花活動への影響も認められていません。
7. 本剤は、有機農産物のJAS（日本農林規格）に適合した薬剤です。

## 適用病害と使用方法

| 作物名 | 適用病害名 | 希釈倍数（倍） | 10a当り散布量（ℓ） | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 野菜類（なすを除く） | 白さび病 | 1,000 | 150～500 | 収穫前日まで | ― | 散布 |
| | 軟腐病 | | | | | |
| | うどんこ病 | 750～1,500 | | | | |
| きゅうり | 斑点細菌病 | | | | | |
| | 灰色かび病 | 1,000 | | | | |
| トマト ミニトマト | 疫病 葉かび病 すすかび病 | 800 | | | | |
| なす | うどんこ病 | 1,000～2,000 | | | | |
| | 黒枯病 | 1,000 | | | | |
| レタス 非結球レタス | 腐敗病 | | | | | |
| ばれいしょ さといも | 疫病 | | | | | |
| かんしょ | 基腐病 | | 200～300 | | | |
| こんにゃく | 葉枯病 | 500 | 150～500 | | | |
| ごま | うどんこ病 斑点細菌病 | 1,000 | 100～300 | | | |
| せんぶり | さび病 | | 150～500 | | | |
| かんきつ | かいよう病 | 750～1,500 | 200～700 | | | |
| 西洋なし | 輪紋病 | 500 | | | | |

## 上手な使い方

### ●たっぷり・ていねいに散布

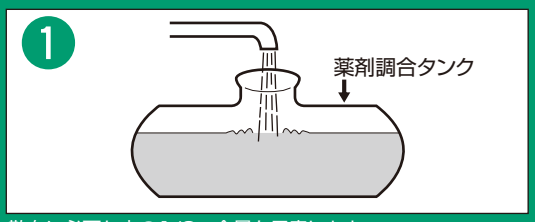
本剤は病原菌と接触することにより優れた効果を発揮します。十分な量をていねいに散布してください。

### ●定期散布

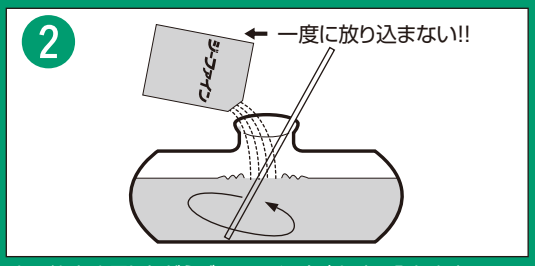
うどんこ病の密度が高い時は、7～10日を目安に定期散布を心がけてください。

### ●薬剤の溶かし方

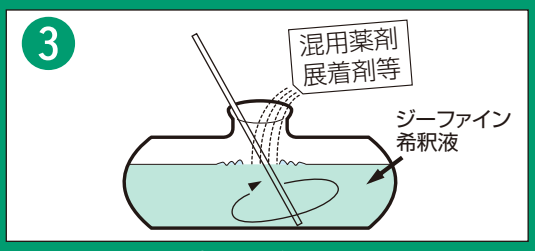
本剤は水中に沈みにくく、また少量の水で希釈すると発泡しますので、必ず所定量の水に本剤を撹拌しながら加えるよう、散布液の調製は下記の要領で行ってください。（発生する泡は炭酸ガスですので特に危険はありません）




散布に必要な水の1/2～全量を用意します。




ゆっくりかき回しながらジーファインを少しずつ入れます。
入れ終わった後も数分間ゆっくりかき回してください。




他の農薬と混用する場合は先にジーファインを調製した後に混用する薬剤あるいは展着剤等を溶かしてください。

### 使用上の注意事項

●使用量に合わせ薬液を調製し、使い切って下さい。
●本剤は水中に沈みにくく、また少量の水で希釈すると発泡しますので、必ず所定量の水に本剤を少量ずつ撹拌しながら加え、均一に分散させて散布液を調製して下さい。（発生する泡は炭酸ガスなので特に危険はありません。）
●病害の発生初期から予防的に散布してください。なお、多発生の場合は効果が劣ることがあるので、所定範囲の高濃度で使用して下さい。
●本剤は病原菌と接触することにより優れた効果を発揮しますので、十分な量を丁寧に散布して下さい。
●散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節して下さい。
●本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
●適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任に於いて事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
●うどんこ病の密度が高い時は、7～10日を目安に定期散布を心がけて下さい。
●細菌性病害の防除は予防的に散布して下さい。
●非結球レタスに使用する場合、収穫葉展開以降の散布は汚れを生ずることがあるので注意して下さい。
●パセリに使用する場合、生育が緩慢な時期には、汚れを生ずることがあるので注意して下さい。
●きゅうり、すいか、メロンに使用する場合、薬害が生じるおそれがあるので、幼苗期の散布は避けて中期以降に散布して下さい。
●きゅうり、すいか、メロンに使用する場合、高温時、極端な低温時および湿潤状態が長時間続く場合の散布は、薬害の症状が激しくなることがあるので避けて下さい。
●きゅうり、すいか、メロンに使用する場合、連続散布は葉の周辺が黄化したり、硬化することがあるので、過度の連用を避けて下さい。
●ジチオカーバメート系殺菌剤との混用、近接散布は効果・薬害の点で問題があるので避けて下さい。
●レタスに使用する場合、高温時や結球開始以降の薬害が発生しやすい時期の散布では、炭酸カルシウム水和剤（クレフノンなど）を加用して下さい。
●チンゲンサイに使用する場合、収穫葉展開以降の散布は薬害を生ずるので使用を避けて下さい。
●かんきつに使用する場合、薬害（スターメラノーズ）軽減のため炭酸カルシウム水和剤を加用してください。特に果実着生期の散布では厳守して下さい。
●かぶ、非結球アブラナ科葉菜類、アブラナ科はなやさい類に使用する場合、薬害を生ずるおそれがあるので注意して下さい。
●さといもに使用する場合、葉の褐変、葉先の枯れなどの薬害が生じるおそれがあるので注意して下さい。
●西洋なしに使用する場合、薬害軽減のため炭酸カルシウム水和剤（クレフノンなど）を加用（80倍）して下さい。

### 水産動植物への注意

●水産動植物（魚類、甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい。
●使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切って下さい。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。

### 安全使用上の注意

●誤飲、誤食などのないように注意して下さい。
●誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせて下さい。
●本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けて下さい。
●本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けて下さい。
●散布液調製時および散布の際は保護メガネ、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼して下さい。

### 貯蔵上の注意

●密封し、直射日光をさけ、食品と区別してなるべく低温で乾燥した場所に保管して下さい。
●吸湿しやすいので開封後長期間の保存は避けて下さい。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベル記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所に置かないでください。

このチラシの記載内容は2024年2月現在のものです。


サンケイ化学株式会社

東京本社　〒110-0005 東京都台東区上野7-6-11　☎(03)3845-7951
東京営業部　〒366-0032 埼玉県深谷市幡羅町1丁目13-1　☎(048)551-2122
大阪営業所　〒532-0011 大阪市淀川区西中島2丁目14-6　☎(06)6305-5871